



市民シンポジウム in 長崎 2014

～産業遺産、被爆遺構の保存と活用を考える～

長崎県内には長崎市を中心とする産業遺産、被爆遺構が残されています。これらの遺産・遺構を保全し後世に引き継ぐとともに、これらを活用して地域の活性化、学習体験の場にすることが求められています。本シンポジウムではこれらの調査、保存、利活用に関する最新の話題を市民に提供し、官民一体となった今後の保存・利活用のあり方を議論します。

開催
期日

平成26年

11/15 土

14:00-17:30

入場無料

会場

長崎大学 文教スカイホール

● 第一部

<14:00-15:50>

基調講演

長崎の産業遺産・被爆遺構の現状と課題

軍艦島の三次元計測（産業遺産）

松田 浩（長崎大学大学院工学研究科 教授）

被爆遺構の現状と課題（被爆遺構）

松尾 隆（長崎原爆資料館 被爆継承課長）

● 第二部

<16:00-17:30>

パネルディスカッション

官民一体となった保存と活用を考える

産業遺産・被爆遺構と長崎市

田上 富久（長崎市長）

歴史的建築物の保存のためのひとづくり

鉄川 進（（有）鉄川 進 一級建築士事務所 代表取締役）

地方のインフラは誰が守っていくのか ～軍艦島の三次元計測を通して学んだこと～

松田 浩（長崎大学大学院工学研究科 教授）

遺産や遺構とまちづくり～次世代への継承のために～

安武 敦子（長崎大学大学院工学研究科 准教授）

パ
ネ
リ
ス
ト

主催 国立大学法人長崎大学

共催 一般社団法人国立大学協会九州地区支部会議

長崎大学総務部総務企画課

TEL : 095-819-2016 FAX : 095-819-2024
Eメール : soumuka@ml.nagasaki-u.ac.jp

お問い合わせ / 申し込み

お申し込みは長崎大学ホームページへ

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>